

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 351

事務事業名	農業施設整備事業	
基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040103	魅力ある農林水産業の振興
施策		農地の保全と有効活用
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	小森 信親	内線	258

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画	大村市農村環境計画	
重点事業		

会計	一般会計		
款	6	農林水産業費	
項	1	農業費	
目	5	農地費	
事業コード	060000	農業施設整備事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	農業用排水路及び農道		
意図	水路改修による安定した農業用水の確保と、農道改修による農作業及び農作物集出荷の効率化を図ることにより、農業経営の安定を図る。		
事業概要	地元受益農家からの申請分について審査を行い、順次施工するもので、農業用排水路の改修や農道の舗装及び改良を行う。地元負担・水路45%、舗装35%、改良35%		
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	法定外公共物管理条例、大村市営農林業施設整備事業の施工に関する規則		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 年間水路工事件数(ため池含む)	計画値	13	13	13	13	計画値は予算計上工事予定件数
		実績値	16	7	10		
		達成度	123.1%	53.8%	76.9%		
活動指標	② 年間舗装工事件数(改良含む)	計画値	6	6	6	6	計画値は予算計上工事予定件数
		実績値	2	5	6		
		達成度	33.3%	83.3%	100.0%		
成果指標	① 整備件数	計画値	19	19	19	19	計画値は予算計上工事予定件数
		実績値	18	12	16		
		達成度	94.7%	63.2%	84.2%		
成果指標	② 整備済件数/整備計画件数	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	16,275	20,599	17,953	18,000	19,500	19,500	19,500	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	5,850	6,747	6,084	6,700	6,700	6,700	6,700	
一般財源	10,425	13,852	11,869	11,300	12,800	12,800	12,800	
② 人件費(千円)	2,662	4,386	4,802	5,727	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.31	0.56	0.61	0.76	単独事業費 原材料費	単独事業費 原材料費	単独事業費 原材料費	
時間外勤務(時間)	99	77	250	100				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	18,937	24,985	22,755	23,727				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	地元からの申請を受けて本事業を行っているが、申請箇所数が多いため現在2年の順番待ちが発生している状況にある。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	申請のうち、損傷拡大の可能性等緊急度の高いものを優先的に実施しているが、申請箇所が多いため現在2年間の順番待ちが発生している状況にあり、事業実施待ちの間に施設の老朽化や豪雨等による破損等が進み、事業費の増加を招くケースがある。 また、年々後継者が減少傾向にあるため、今後の農業用施設の維持管理及び老朽化施設の更新が問題となる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	事務改善効率化、簡素化の余地はない。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		
既に地元受益者負担割合の見直しを実施しており、これ以上の負担の見直しはできない。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充	
--------	----	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	近年、施設の老朽化が進む中で、小規模な農業用施設の補修・更新等については、受益者が材料支給を受け施設の長寿命化に努めており、事業成果も高く新規申請が絶えないため、予算を増額する。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	事業進捗を早め、施設改修費の低減と施設の長寿命化を図ることが出来る。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。